

ひなみ大学 文学-2026

昭和とはどんな時代だったのか？

「激動の昭和」といわれます。世界大戦、敗戦、戦後復興、高度経済成長、経済大国化、バブル崩壊……。半世紀あまりのうちに、これらが全て起き、人々を翻弄し続け、そして「失われた30年」へと突入していきました。昭和元年は1926年。それからちょうど1世紀が経過した「今ここ」でいったん立ち止まり、「昭和とはどんな時代だったのか」を、各時代を象徴する文学作品を通して振り返ります。果たして、何が見えてくるのでしょうか。

① 1/8 昭和初期の文学とモダニズム	⑦ 2/19 第二次戦後世代と「第三の新人」
② 1/15 プロレタリア文学と社会意識	⑧ 2/26 高度経済成長と文学の変容
③ 1/22 戦時下の文学と検閲	⑨ 3/5 若者文化と文学
④ 1/29 戦後文学の誕生と「敗戦」体験	⑩ 3/12 地方文学と「日本人」の再定義
⑤ 2/5 原爆文学と人間の尊厳	⑪ 3/19 ノンフィクション文学と記録性
⑥ 2/12 女性作家の台頭とジェンダー意識	⑫ 3/26 昭和の終焉と文学の総括

《4月2日より「投資～人生とはどんなゲームなのか？」がスタートします》

【講座要項】

日 時	毎週木曜日 20:00 ～ 21:30 受講はオンラインのみ ※ 英語A、英語B、武道クラスの受講者は振替受講も可能です	受講はこちらから  ZoomミーティングID: 719 1802 3488 パスワード: 018303 ※事前にアプリをインストールしてください。
受講料	12,100円(税込) 体験受講料 1,000 円(税込) ※ 各テーマにつき1回、体験受講できます (塾生とその家族は無料)	
申込／問合せ	T E L / 090-8220-1010(担当ミウラ) M A I L / qt@hinami.org	

※ 裏面の受講者感想をぜひお読みください。

【受講者感想】

※ 所属及び学年は、感想をいただいた当時のものです。

中学生の頃から現在に至るまで、ひなみ大学を10年近く受講し続けていますが、自分の知的な成長に大きく役立った実感があります。このクラスは3か月ごとに学習テーマが変わり、宗教や哲学からポップカルチャーに至るまで様々なことを学んできましたが、中学時に受講を始めたことで、このクラスで取り扱った各テーマについての学びと同じかそれ以上に、学問そのものに向き合う姿勢や、学校での教科学習にとどまらずにそれを超えて勉強すること、すなわち学ぶ上で土台となるものが理屈抜きに身についたと感じています。京都大学に進学して地元を離れた今でもこのクラスにオンラインで参加していますが、ともすれば同じような性質の人が多く集まるいわゆる「大学」とは違って、ひなみ大学には様々なバックグラウンドを持つ人たちが会するので、社会とのつながりをより意識することが出来ます。もちろん個々のクラスも知的興奮を与えてくれるという点で面白く、それも現在受講している理由なのですが、それと同じくらい、社会の中で生きる様々な人たちとの会話を通して刺激を受けることが多く、このクラスを毎週楽しみにしています。

藤中一心（京都大学在学中）

ひなみ大学を受講して得たものは数え切れませんがあえて一つ選ぶならば「真に学問すること」の楽しさを知ったことです。自分は幼い頃から小、中、高校と受験を繰り返して来ており、学校のテストでいかに評価されるかということに捉われていました。しかし、ひなみ大学に通うことでそれがいかに狭く縛られた価値観だったかを思い知らされました。なぜなら、学校のテストというものはあくまで入試を突破するためのものさしに過ぎず、それ以上でも以下でもないからです。学問することは今の自分を俯瞰し、これからどう行動するかを見極めることだと信じています。決して点数化できるものではありません。そうして思考した経験は間違いなく僕の宝物になっています。ひなみ大学では年齢、職業問わず、あらゆる方が一同に会して勉強します。純粋に学問を楽しみたい方、今の自分を見つめ直したい方、特に学校の勉強に窮屈さを感じている方はぜひ受講することをお勧めします。

角凜人（高校3年生）

僕は、ひなみ大学を半年間続けて変わったことが2つあります。1つ目は、このクラスには「難しい」というイメージがありました。でも、おやびんが小学生の僕にも分かりやすく、たまに面白おかしく説明してくれます。学んだことを生かして自分たちで話し合う時間も、僕が話について行けていない時には、先輩たちが助けてくれるので、安心です。2つ目は、難しいと感じるときには、とりあえず聞いているだけでも頭に入ってくることがあって、すごくよかったということです。完全には分からなくても、自分なりにがんばって聞いていると、なんとなくだけど理解が出来ます。聞いたことをおさらいすると、その日のお話が頭に入って覚えられます。ここで教わることは無駄じゃないと感じるし、ここで学んだことが生活や学校の勉強などの中で役に立った時は、とても嬉しいです。

峠晴文（小学6年生）

《4月2日より「投資～人生とはどんなゲームなのか？」がスタートします》